



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,460	△6.8	△286	—	△313	—	△378	—
2020年3月期第1四半期	9,080	3.3	203	406.8	257	75.1	31	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △803百万円 ( — %) 2020年3月期第1四半期 302百万円 ( — %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△11.41	—
2020年3月期第1四半期	0.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	56,803	42,290	71.2
2020年3月期	58,653	44,780	72.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 40,437百万円 2020年3月期 42,756百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当2円 記念配当4円

2021年3月期配当金(予想)につきましては、2020年5月13日に「2020年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	40,500	△10.1	700	△79.8	750	△79.0	600	△71.0	18.45	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	34,536,635株	2020年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,047,174株	2020年3月期	657,114株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	33,146,326株	2020年3月期1Q	33,861,974株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大が世界経済に莫大な影響を与えており、また、引き続き不透明な状況にある米中貿易摩擦など、厳しい局面が続くと想定されております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っております。国内では、「音の報せる力」を強みとする専門メーカーである当社ならではの視点で、引き続き商品のラインアップの拡充やバージョンアップを実施しております。ソーシャルディスタンスを保ちつつ、クリアで聞き取りやすい音を届ける「ハンズフリー拡声器」の新シリーズを発売いたしました。また、混雑緩和・サービス向上に貢献すべく、防犯カメラシステム「TRIFORAシリーズ」のネットワークカメラをご利用いただける、AIを活用した拡張機能「滞在人数カウント」「通過人数カウント」の提供を開始いたしました。このように、新たな社会、生活様式におけるコミュニケーションの役割を担うべく、様々なソリューション提案活動を行っております。また、世界5地域でのマーケティング活動の効率をより高めるためのデジタルツールとして、新たなシステム基盤を導入、稼働いたしました。

しかしながら、グループ全体で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,460百万円（前年同四半期比△619百万円、6.8%減）となりました。利益については、販売費及び一般管理費は減少しましたが、営業利益は△286百万円（前年同四半期比△490百万円）、経常利益は△313百万円（前年同四半期比△570百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△378百万円（前年同四半期比△409百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (日本)

売上高は5,102百万円（前年同四半期比△156百万円、3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は709百万円（前年同四半期比△85百万円、10.8%減）となりました。

鉄道車両向けの出荷は増加するものの、経済活動の停滞などにより音響機器の販売が低迷したことを受け、売上高、セグメント利益は減少しました。

#### (アジア・パシフィック)

売上高は1,646百万円（前年同四半期比△34百万円、2.1%減）、セグメント利益（営業利益）は225百万円（前年同四半期比△84百万円、27.2%減）となりました。

インドネシアやベトナムでの販売は堅調に推移しましたが、タイでの大型案件の減少などを受け、セグメント全体での売上高、利益は減少しました。

#### (欧州・中東・アフリカ)

売上高は975百万円（前年同四半期比△168百万円、14.8%減）、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同四半期比△63百万円、49.7%減）となりました。

欧州での経済活動停滞の影響や、大型案件の減少により、売上高、セグメント利益は減少しました。

#### (アメリカ)

売上高は434百万円（前年同四半期比△131百万円、23.2%減）、セグメント利益（営業利益）は17百万円（前年同四半期比△56百万円、76.9%減）となりました。

アメリカでの小売店向けの音響機器の販売が伸び悩み、また大口案件の減少などを受け、売上高、セグメント利益は減少しました。

#### (中国・東アジア)

売上高は302百万円（前年同四半期比△127百万円、29.7%減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同四半期比△55百万円、95.7%減）となりました。

香港では空港向けなどの大型案件の納入が進み、また台湾での販売も堅調に推移しましたが、中国での販売が伸び悩み、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は56,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,850百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権や有価証券の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、配当金の支払などによる利益剰余金の減少や自己株式の取得などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、「2020年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,610	16,142
受取手形及び売掛金	10,312	7,601
有価証券	1,200	—
商品及び製品	6,845	7,328
仕掛品	1,045	1,130
原材料及び貯蔵品	3,065	3,450
その他	880	1,252
貸倒引当金	△75	△47
流動資産合計	38,885	36,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,237	6,188
その他	4,342	4,389
有形固定資産合計	10,579	10,578
無形固定資産		
投資その他の資産	1,599	1,517
投資有価証券	6,163	6,469
その他	1,426	1,379
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,589	7,848
固定資産合計	19,768	19,944
資産合計	58,653	56,803
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409	3,486
短期借入金	1,915	2,913
未払法人税等	332	101
引当金	176	107
その他	3,348	3,251
流動負債合計	9,183	9,859
固定負債		
退職給付に係る負債	2,841	2,758
その他	1,848	1,895
固定負債合計	4,689	4,653
負債合計	13,872	14,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,058	5,058
利益剰余金	30,236	29,175
自己株式	△385	△1,390
株主資本合計	40,189	38,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,682	3,898
為替換算調整勘定	△1,009	△1,480
退職給付に係る調整累計額	△104	△103
その他の包括利益累計額合計	2,567	2,314
非支配株主持分	2,024	1,852
純資産合計	44,780	42,290
負債純資産合計	58,653	56,803

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	9,080	8,460
売上原価	4,931	5,001
売上総利益	4,148	3,458
販売費及び一般管理費	3,945	3,745
営業利益又は営業損失(△)	203	△286
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	45	50
その他	40	41
営業外収益合計	90	94
営業外費用		
支払利息	14	18
為替差損	19	95
持分法による投資損失	—	0
その他	2	6
営業外費用合計	35	121
経常利益又は経常損失(△)	257	△313
特別損失		
解体撤去費用	—	11
特別損失合計	—	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	257	△324
法人税等	115	49
四半期純利益又は四半期純損失(△)	142	△373
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31	△378



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	142	△373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	215
為替換算調整勘定	9	△648
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	159	△429
四半期包括利益	302	△803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	△631
非支配株主に係る四半期包括利益	137	△171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月13日開催の取締役会に基づき、自己株式1,390,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,004百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,390百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,259	1,681	1,144	565	429	9,080	—	9,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,101	32	2	1	4	1,142	△1,142	—
計	6,360	1,713	1,147	566	433	10,222	△1,142	9,080
セグメント利益	795	309	128	73	57	1,365	△1,162	203

(注)1. セグメント利益の調整額△1,162百万円には、セグメント間取引消去38百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,200百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,102	1,646	975	434	302	8,460	—	8,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	861	17	5	0	4	888	△888	—
計	5,963	1,664	981	434	306	9,349	△888	8,460
セグメント利益	709	225	64	17	2	1,019	△1,306	△286

(注)1. セグメント利益の調整額△1,306百万円には、セグメント間取引消去△40百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,266百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。